

じびか歳時記

もりやま耳鼻咽喉科

春と秋どちらをひいき号 院長編 (Vol.38)

1.春のうららの 隅田川／のぼりくだりの 船人が／權（かい）のしづくも 花と散る／ながめを何に た
とふべき

2.見ずやあけぼの 露（つゆ）浴びて／われにも言ふ 桜木（さくらぎ）を／見ずやタぐれ 手をのべて
／われさしまねく 青柳（あおやぎ）を

3.錦おりなす 長堤（ちょうてい）に／くるればのぼる おぼろ月／げに一刻も 千金の／ながめを何に た
とふべき

◆武島羽衣作詞、滝廉太郎作曲 「花」

1 番の歌詞は源氏物語「胡蝶」の巻で詠まれた和歌「春の日のうららにさして行く船は棹のしづくも花ぞちりける」によったものである。

2 番の「見ずや」は、「(こんな素晴らしい眺めを) 見ないでいられようか」といった反語。結果として、「見よ、ご覧なさい」といった意味で使われる。枕草子を意識している。

3 番は蘇軾の詩「春夜」の一節「春宵一刻値千金」(春の夜のすばらしさは、ひとときが千金にもあたいするほど貴重なものだ) からの着想である。

今回のテーマは、春と秋とどちらが好きかということで、職員の意見を聞くことにしました。皆さんそれぞれの想いがあるでしょう。

自然を愛でそこに感情を移入するというのは、日本人の本質的なもので、「情け」と「景色」が一緒になった「情景」という美しい日本語にも通じるものがあります。「情景」とは、①感興とけしき。心のはたらきと自然の風景。②人の心に何かを感じさせるような自然の景色や、具体的な場面、と日本国語大辞典にあります。春と秋のどちらを好むかという議論は、遠い万葉集の時代からありました。「春山に咲き乱れるいろいろな花のあでやかさと秋山をいろどるさまざまな木の葉の美しさと、どちらの方に深い趣があるかとお尋ねになった時に、額田王が歌で判定した歌」と紹介され、「…(前略)…秋山そ我は(なんといっても秋山が良いと思えますわたしは)」とあります。

以来、どうも日本人は秋を好むようです。源氏物語でも秋好む中宮と春が好きな紫の上が、春か秋かを競い合っています。そして新古今和歌集 56 に、

◆浅緑（あさみどり）花もひとつにかすみつ々おぼろに見ゆる春の夜の月（菅原孝標女）

という歌があり、その前文に「もののあわれを解する女房、殿上人などが世間話をして、春秋のうちどちらの情趣が心を引くだろうか、など議論しました時、多くの人は秋にひいきをしましたので」とあります。歌の意味は、「浅緑色の霞と花も一つになってかすんでおぼろにみえる見える春の夜の月—わたしはその風情に心惹かれます」です。

また、同じく新古今の前の歌 55 番は、春を代表する有名な歌です。

◆照りもせず曇りもはてぬ春の夜のおぼろ月夜にしく物ぞなき（大江千里）

「皓々（こうこう）と照るのでもなく、とってすっきり曇ってしまうのでもない、春の夜のおぼろ月に及ぶものはないよ」

小生も、どちらかといえば、一般的な日本人同様秋の方が好きです。でも、おぼろ月夜を歌った和歌や滝廉太郎の「花」に接すれば、なんとなく春も好きになり、この春を満喫したいと思うようになりました。

コロナ禍なので、ひとりで夜桜と朧月の鑑賞にといきますかね。

春と秋どちらが好き？

春と秋・・・どちらも好きです。生まれたのが春の頃だから、一つ選ぶとすれば春。お花がきれいですよね。子供たちにとっても、気持ちを新たに希望に溢れる季節でもありますね。息子の入学、今年の春は、また思い出深い春になりそうです。しかし、食べ物が美味しい秋もやはり好き（笑）

春と秋…、以前は春の方が旅立ち・人生のスタートって感じで好きでした。ここ2年前から秋の魅力にはまっています。何処に行っても自然が気持ちいい、食べ物は美味しい。楽しみが詰まった秋大好きです♪

春が好きです(^_^)春のポカポカした陽気のなかでお花見やピクニックに行って、ゴロンと横になって寝たいです。考えるだけで気持ちがいいです。暖かいとやる気も出て、家事もはかどりそうです(^_^)笑

どこからともなく金木犀の香りが漂う秋が 好きです。

春が好きです。スポーツの秋と言うけれど暖かくなってきてまだ少し寒い季節に流す汗も気持ちよく好きです。そして、春は何か新しいことにチャレンジしたくなる気分になります！

夏の暑さから解放されて涼しくなっていく秋。食欲の秋。そして誕生月の秋が断然に好きでした。ですが最近は春の様な気がします。冬の寒さから解放されて日差しは暖かくなり、目に映る景色が色とりどりに変化していくのにウキウキするのです。

選ぶのは難しいですが、秋が好きです。秋のしんみりとした切ない感じが好きです。洋服もシックな色が多くて、見ているだけで素敵です。何といても紅葉がきれいで、食べ物も美味くて、大好きな季節です!(^_^)!

秋のイメージが音楽を聴きながら読書をし紅茶を飲みながらゆっくりと過ごす。どれも全く自分には程遠いですが・・・春は春でお花がとても綺麗で心がウキウキして、元気がでます。どちらも好きです。日本の四季は素晴らしいです。

春の方が好きです。子供の頃は進学や学年が変わるなどあり、新しい気持ちになれるところが好きでした。大人になってからは特に何が変わるってわけではないですが、なんとなく気持ちの切り替えが出来るので、新しい何かが始まる気がして好きです。暖かくなるとお出かけもしたくなるので、楽しい気分になれる季節だなあと 생각합니다♪